

# 1. 令和元年度一般会計決算の概要

～実質収支は42億4,800万円、市税収入は4年連続で増収～

## 【決算額と実質収支】

・令和元年度一般会計の決算は、歳入決算額1兆7,578億3,100万円、歳出決算額1兆7,399億6,000万円となり、歳入決算額から歳出決算額等を差し引いた実質収支は42億4,800万円となりました。

実質収支の1/2(約21億2,400万円)は財政調整基金に繰り入れ、残りの1/2は前年度繰越金として、令和2年度の財源として活用します。

## 【市税】

・市税収入は、個人市民税や固定資産税が増収、法人市民税が減収したことなどにより、8,464億5,600万円(前年度比227億3,600万円(+2.8%)増※)となり、4年連続の増収となりました。

※県費負担教職員の本市移管に伴う税源移譲(985億円)を除くと7,480億円で91億円の増収(+1.2%)

・市税収納率は、平成29年度及び30年度と同率の99.2%となりました。

## 【一般会計が対応する借入金残高】

・一般会計が対応する借入金残高は、令和元年度末に3兆1,648億円(前年度末比78億円増)となりました。

### ◇一般会計決算額等の状況

(単位:百万円)

区 分	R元 ①	H30 ②	増減①-②
歳入決算額 A	1,757,831	1,729,379	28,452
歳出決算額 B	1,739,960	1,716,216	23,743
形式収支 C=A-B	17,872	13,163	4,709
繰越財源 D	13,624	11,181	2,442
実質収支 E=C-D	4,248	1,981	2,267

### ◇実質収支の推移

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	R元
実質収支	6,044	2,485	7,278	1,981	4,248